

「保育」という おしごと

— 保育者からのメッセージ —



子どもたちの“小さな気付き”に
心が動かされる幸せな日々です

また、「いろいろな子がいるから、いろいろな遊びや考えが生まれる」ことも教えてもらっています。大げさかもしれませんが子どもたちの素直な気持ちは自分の価値観をも変えてくれます。子どもたちの笑顔に癒され、たくさんの方のエネルギーを励みに、ありのままの心で関わられる幸せを感じながら、同じ日のない毎日を楽しんで保育の仕事に携わってまいります。

百塚保育所

渡部めぐみ 保育士

保育者になって3年……。振り返るとあっという間でした。子どもたちと走り回ったり、いろいろな発見をしたり、時にはリレーで負けて悔しい思いをしたり……。一瞬で過ぎていく日々ですが、新鮮で色の違うかけがえない毎日です。

私は兄弟が多く、年の離れた弟たちの面倒を見ているうちに「子どもが好き」という気持ち芽生え、保育の仕事に興味を持ちました。大学の学びや実習を重ねるうちに、子どもが好きという気持ちだけではなく、「子どもに関わる面白さ」を感じるようになりました。

私には思い付かない発見や、小さな

なことにも心を動かす子どもたちの姿があります。例えば石一つとっても、子どもたちはそれをお金に、料理の具に、鍵に……。魔法のようにさまざまな物に変身させてしまいます。散歩に出掛けると、葉っぱについた雨の滴を見て「先生見て、キラキラしてる」と目を輝かせて教えてくれたり、カラスを見て「すっごく大きな声で元氣いっぱいだね！楽しい気持ちなのかな？」と声に出したり、子どもたちの世界はいつも不思議と発見でいっぱいです。どんなことに対しても真つすぐな子どもたちと一緒に過ごしていると、普段なら通り過ぎてしまうような小さな発見に気付くことができ、心を動かされる毎日です。

村内等で行われた活動やイベントを紹介します **ず〜むあっぷ！「まちの風景」**



稽古と実践を通して技に磨きを！

「彩の国杯第14回全国中学生空手道選抜大会茨城県予選会」で優勝

2月26日、「彩の国杯第14回全国中学生空手道選抜大会茨城県予選会」で優勝し、全国大会への出場を決めた、藤原聖さん(東海南中学校2年(現 同中3年))が村長へ報告に訪れました。稽古に励み、一つひとつの技に磨きをかけている藤原さん。全国大会に向けて「苦手な部分は試合の中で調整しながら着実に克服していきたい」と話してくれました。村長からは、「後輩たちの目標になるよう頑張ってください」とエールが送られました。



地域の安心・安全を守るために尽力

「ひたちなか地区防犯協会防犯功労者表彰」

2月21日、東海文化センターで、「ひたちなか地区防犯協会防犯功労者表彰式」が開催されました。これは、防犯対策や風俗環境浄化等に功労があった個人や団体に贈られるもの。受賞者の皆さんは、防犯連絡員や防犯パトロール団体の一員として、安全で安心して暮らせる地域づくりの担い手となり、防犯活動に取り組んできました。一人ひとりの地道な活動が地域の安全へと結び付いています。